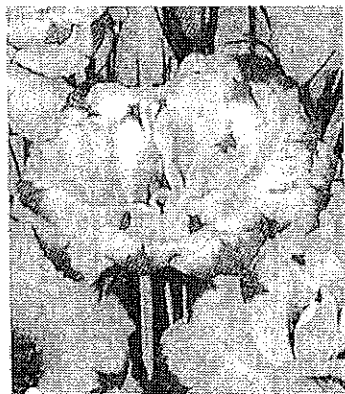


3章



観賞用植物の用途

- 解説 66
- Q & A ①お祝いの花 70
- ②お見舞いや御礼・その他のご挨拶など 72
- ③お供えの花 74
- ④新しいギフト形態, システム 76
- ⑤家庭で楽しむ——切り花 78
- ⑥家庭で楽しむ——鉢植え 80
- ⑦パーティーなど会場を飾る 82
- ⑧公共の空間を飾る 84

観賞用植物の用途

一般的に植物の美しさを楽しむ用途について考えてみますと、「贈る」ということと「飾る、育てる」という2点に大別されるでしょう。

贈る

まず植物を贈るということについて考えてみましょう。何かをプレゼントする時、まさきに花を思い浮かべるといったケースはまだまだ少ないのではないのでしょうか。若い方を中心にだいぶポ

ピュラーになっているようですが、実際にはお見舞いや慶弔関係を除いてはあまり縁がないという人も多いのが実情でしょう。日本では贈物に対するイメージは形の残る記念品といったイメージが強く、萎えて形のなくなってしまう植物は、なかなかその価値が認められにくいものでした。最近では、生活の周囲に花や観葉植物の存在が目立ち、グリーンインテリアなどという言葉も一般的になって、植物を暮らしの一部としてとらえる人もだいぶ増えました。そんな今だからこそ、もっと植物のギフトが身近な物になればと痛感します。

ヨーロッパで30代から40代の女性に人気のあるギフトは、一番めがチョコレート、二番めがシャンペン、そして三番めが花であるといいます。綺麗に包装したチョコレートは食べるとなくなり、シャンペンも栓を抜けば泡とともに飲み干されます。花はもちろん命に限りがあるわけで、どれも後々まで残るものではないという共通の特徴があります。それだからこそ、送り主の気持ちを強く感じ、贈物が手元にある期間は相手のことを大切に考えるもののようです。こういった意識の交流こそ、ギフトの本流ではないのでしょうか。

形あるものでも壊れたり、生かしきれずにしまい込んだりといったケースが多い中、相手にも負担がかからない物の方が好ましく思えますし、後に物が残らなくても、もらった時の嬉しいといった感情は余韻となって残っていくでしょう。美しい色、美しい花の姿には誰もが素直な感動を覚え、何より季節感を伝えることができるのも魅力です。

ただし、最低限のマナーが必要になります。その時々場所、場合、相手、季節感や行事に合っているかなど、TPO（時間、場所、場合）に合った植物の選択が大切です。例えば同じ花束を贈る場合でも、舞台などで出演者にセレモニーとして贈る花束は大きく、豪華である必要がありますし、個人的なお祝いなどでそっと手渡す花束は小ぶりでも気の利いた要素が欲しくなるものです。また、リボ

ンの色、ラッピングの形態などを変化させるだけでも植物の雰囲気は変わるものです。このような点に留意し、販売する立場になった場合には、顧客からギフトのTPOを細かく聞き取り、それに適した植物を適した状態で販売する必要が生まれてきます。

【植物を贈る機会】

〈お祝い〉 出産、誕生日、賀寿、結婚、新築、開店、開業、出演、
受賞など

〈記念日〉 結婚など

〈挨拶〉 年賀、中元、暑中見舞、歳暮、寒中見舞、手土産など

〈ギフトデー〉 成人の日、ヴァレンタインデー、ホワイトデー、
卒業、入学、サンジョルディ、母の日、父の日、ボスデー、
セクレタリーデー、敬老の日、クリスマスなど

〈お見舞い〉

〈お悔やみ〉

【誕生花】 一般的とされるもの。諸説あります

〔1月〕 水仙	〔5月〕 鈴蘭	〔9月〕 グリア
〔2月〕 ヒアシンス	〔6月〕 バラ	〔10月〕 菊
〔3月〕 スミレ	〔7月〕 百合	〔11月〕 プバルディア
〔4月〕 チューリップ	〔8月〕 ヒマワリ	〔12月〕 カトレア

フラワーギフトをより素晴らしいものにするためには、より植物を楽しんでもらう工夫も必要です。植物名を明記し相手にも知ってもらうこと、手入れ方法などの注意書きを添えること、切り花であれば延命剤、鉢植えであれば簡単な肥料などを添えることなど、送り主や販売側が留意すると望ましい点があります。こうすることにより、「植物はすぐに駄目になってしまいギフトには不向き」といった既成概念を払拭していく必要もあるでしょう。

飾る、育てる

植物を飾る場合、住空間などプライベートな空間を飾る場合と、公共の空間を飾る場合とがあります。家庭で楽しむ場合は、食卓の上の一輪の花、ベランダのひと鉢の鉢植えなど、ほんの少しの要素が暮らしに潤いを与えるエッセンスにな

りますし、商業空間やオフィスなどを彩る緑などが後者の例となるでしょう。また、最近はいわゆる業務需要としての花の姿が多く見られ、結婚式やパーティなど大量の花を装飾目的で利用するケースも増えています。

【植物を飾る，育てる】

〔家庭〕

切り花を楽しむ……フラワーデザイン，生け花

鉢植えを楽しむ……グリーンインテリア，家庭園芸，家庭菜園

〔公共の空間〕

装飾……会館や会場装飾，オフィスグリーン

景観づくり……アトリウム，庭園

このように空間に植物を取り入れることにはどんな意義があるのでしょうか。まず、大前提として人々の自然への憧れ感が植物を身近に置くという行為に結びついているように思いますが、そのことは結果的に多くの効用をもたらします。アメリカの科学者 R. S. ウルリッヒは、慢性的な疾病患者を緑の景観が見える病室と見えない病室に分けて収容し、緑の見える病室の患者の方が治癒の傾向が順調であることから、精神状態の安定に影響を及ぼす α 脳波は、緑の景観を見ることによって増幅されるとの結果を見いだしました。また、米航空宇宙局 (NASA) は、観葉植物のうちの何種類かが大気の浄化作用を持つと報告しています。

また、植物の生命を維持し育む行為は、人に使命感と大きな満足感を与えることも知られています。このように、植物を飾り、また育てることにより、人は視覚的に満足感を得るだけでなく、数多くの恩恵を被ります。

実際に家庭で植物を楽しもうとする場合、やはりポイントとなるのは価格であり、無理なく購入できること、またそれなりのコストパフォーマンスが求められるのは必須です。ギフトではなく家庭用と目的を絞った植物の供給。そして購入後の管理方法、楽しみ方などの情報を広く伝えることが必要となるでしょう。

また植物で空間を装飾する場合、そのボリューム、色彩、量の供給、鮮度などが重視されます。多くの場合営業活動も伴いますので、専門知識を有した人材の育成なども必要不可欠となるでしょう。

装飾物として植物をとらえるのではなく、植物と空間内で共存している。そんな認識ができるようになることが将来的には目標となるでしょう。 <濱田>

(参考) 全国の自治体の花と木

都道府県名	都道府県の花	都道府県の木	都道府県名	都道府県の花	都道府県の木
北海道	ハマナス	エゾマツ	滋賀	シャクナゲ	モミジ
青森	リンゴ	ヒバ	京都	シダレザクラ	キタヤマスギ
岩手	キリノハナ	ナンブアカマツ	大阪	ウメ, サクラソウ	イチヨウ
宮城	ミヤギノハギ	ケヤキ	兵庫	ノジギク	クスノキ
秋田	フキノトウ	アキタスギ	奈良	ナラヤエザクラ	スギ
山形	ベニバナ	サクランボ	和歌山	ウメ	ウバメガシ
福島	ヤエシャクナゲ	ケヤキ	鳥取	20世紀ナシノハナ	ダイセンキャラボク
茨城	バラ	ウメ	島根	ボタ	クロマツ
栃木	ヤシオツツジ	トチノキ	岡山	モモ	アカマツ
群馬	レンゲツツジ	クロマツ	広島	モミジ	モミジ
埼玉	サクラソウ	ケヤキ	山口	ナツミカンノハナ	アカマツ
千葉	ナノハナ	イヌマキ	徳島	スダチ	ヤマモモ
東京	ソメイヨシノ	イチヨウ	香川	オリーブ	オリーブ
神奈川	ヤマユリ	イチヨウ	愛媛	ミカンノハナ	マツ
新潟	チューリップ	ユキツバキ	高知	ヤマモモ	ヤナセスギ
富山	チューリップ	タチヤマスギ	福岡	ウメ	ツツジ
石川	クロユリ	アテ	佐賀	クスノハナ	クスノキ
福井	スイセン	マツ	長崎	ウンゼンツツジ	ヒノキ, ツバキ
山梨	フジザクラ	カエデ	熊本	リンドウ	クスノキ
長野	リンドウ	シラカバ	大分	ブンゴウメ	ブンゴウメ
岐阜	レンゲ	イチイ	宮崎	ハマユウ	フェニックス
静岡	ツツジ	モクセイ	鹿児島	ミヤマキリシマ	カイコウス, クスノキ
愛知	カキツバタ	ハナノキ	沖縄	デイゴ	リュウキュウマツ
三重	ハナショウブ	ジングウスギ			

3.1 お祝いの花

Q 最近、誕生日や結婚のお祝いなどに花を贈るケースが増えて
います。具体的にどんな例があり、また、どういった点に気
をつけたらよいでしょうか。

A まず、人が生まれてすぐのお祝い「出産祝い」にフラワーギフトはぴっ
たりです。赤ちゃんの性別に合わせて女の子ならピンク系、男の子なら
ブルーやイエロー系のアレンジメントなど適当です。病院などでは花瓶のない場
合もありますので、乳母車型の容器にアレンジメントしたり、バスケットなどに
ハンドタオルなど当座必要となるであろう小物などと組み合わせてギフトにしま
す。この場合、半分は赤ちゃんに、半分は大役を果たしたお母さんへねぎらいの
気持ちを込めてのギフトといえるでしょう。誕生祝いとして最初の年に1本、毎
年誕生日が来るごとに年齢の数だけ花を贈る、なども洒落ています。何か特徴の
ある物とを考え、例えば白い花とか、ブルー系の花だけで花束を作って贈ったり
する場合がありますが、受けとる方によっては寂しい印象を受ける場合もありま
すので、先方の趣味や好みのわからない場合は明るい色合いの方が無難でしょう。

また、1年の中には、5月の第二日曜の「母の日」、6月の第三日曜の「父の日」、
9月15日の「敬老の日」など、家族に関する記念日があります。母の日はカーネ
ーション、父の日はバラといわれますがそれにこだわらず好きな花を選んだり、
母の日にはハンカチやオーデコロン、父の日はワインやネクタイなど、何かに花
を添えるようにするとさりげなく花を贈れます。女性ならば幾つになっても花の
プレゼントは嬉しいものです。特に、若い頃に花をプレゼントされる機会が今以
上に少なかったであろう年配の方にとって、敬老の日の華やかな花のプレゼント
は印象の深いものになるでしょう。

結婚に関しても花のモチーフはたくさんあります。サムシングブルーといって、
何か青い物を身につけると花嫁は幸せになるといいますが、ブルー系の小花を混
ぜた小ぶりの花束は花嫁さんへのプレゼントにぴったりでしょう。また、結婚式
の時にブーケやブートニアを注文する際コサージュと一緒に注文し、新郎、新婦
のお母さんに感謝の気持ちを込めて贈って胸につけてもらうなどの方法もあるで
しょう。結婚記念日にも、花婚式(4年目)というのがあります。アメリカの地方
によっては、結婚記念日にその年にちなんだ花のアレンジメントを贈る習慣があ

るそうです。例えば1年目の紙婚式には花を綺麗なペーパーに包んで贈り、7年目の銅婚式には銅製の花瓶に花をアレンジして贈るなどといった方法ですが、これはご主人から奥様へのプレゼントにしてもよいのではないのでしょうか。

このほか、長寿のお祝いなど内輪で祝うもの、昇進、栄転、退職祝いなど職場で皆で祝うもの、受賞、叙勲などの晴れやかな席でのお祝いのほか、開店、開業、新築などの俗にスタンド花と呼ばれる花を贈る場合など、花が似合うお祝いのケースはたくさんあります。その場合場合に合った花のギフトを心掛けたいものです。

〈濱田〉

賀 寿

還 暦	数え年 61 歳	米 寿	数え年 88 歳
古 希	70 歳	卒 寿	90 歳
喜 寿	77 歳	白 寿	99 歳
傘 寿	80 歳		

結婚記念日

1年目	紙婚式	7年目	銅婚式	13年目	レース婚式	35年目	珊瑚婚式
2	綿婚式	8	青銅婚式	14	象牙婚式	40	ルビー婚式
3	革婚式	9	陶器婚式	15	水晶婚式	45	サファイヤ婚式
4	花婚式	10	錫婚式	20	磁器婚式	50	金婚式
5	木婚式	11	鋼鉄婚式	25	銀婚式	55	エメラルド婚式
6	鉄婚式	12	絹婚式	30	真珠婚式	60	ダイヤモンド婚式

3.2 お見舞いや御礼・その他のご挨拶など

Q 病氣見舞いで花を贈る機会は多いものです。その際注意しなければいけない点はどんなところでしょう。また、その他の儀礼関係で花を贈るケースはありますか。

A 日頃親しくしている人が病氣や怪我をした場合、まずお花を、と考える方は多いものです。お見舞いに駆け付けるのが一番と思いがちですが、病氣の種類や病状により、行く時期や花の形態についても考慮が必要です。お祝いでのミスマナーは笑って許される場合もありますが、お見舞いの場合慎重を期するに越したことはありません。入院などしている場合は、一度手ぶらで伺ってお花が寂しいようなら差し上げるといった方が本当は親切です。重なると置き場所にも困りますし、付き添いの人が花の手入れに忙殺されかねません。お見舞いの花に埋もれて困ってしまっている、といった光景も実際によく目にします。

強い色、強い香り、花粉の落ちる花、例えばユリや色の濃いバラなど避けた方が無難です。鉢植えは、ご存知のように「根づく」のジンクスから嫌われてきましたが、時と場合によっては水切りや生けるなどの手がかからない点がプラスになる事もあります。ただし、これは本当に時と場合によってで、縁起を気にする方やお年寄り、重病の方には控えた方が無難です。仲の良い方なら「切り花より手がかからないから」とか、「あなたの好きな〇〇〇を見かけたから」とメッセージを添えて差し上げてください。「首が落ちる」のジンクスからツバキ、サザンカが嫌われるのも通例です。

切り花をお見舞いにする場合、重宝なのはアレンジメントです。また、花束の場合はシンプルな花瓶を添えて差し上げるなどの気遣いをしたいものです。長期療養の場合は、忘れずにコンスタントにお花を届けてはどうでしょう。季節感のある花にメッセージを添えて、前の花がしおれるころを見計らってお届けします。包装などはなるべく簡単にし、病室などでバリバリと包みを解かないで済むようにもしたいものです。そして大切なのは、全快をした時に何より華やかな花を快気祝いでお届けすることでしょう。

このほか、ご挨拶として花を贈る場合があります。代表的な例が手土産ですが、これは日本独自のマナーといわれています。外国ではよそのお宅を訪問する折、特に何も持参せず、後日お礼のメッセージを添えて花束などを贈るようです。た

だ、食事などをする場合にそのテーブルを飾る花があれば何よりですから、花の手土産はきっと歓迎をされるでしょう。特にフォーマルな花でなくて、自分の育てた観葉植物を株分けし、洒落た鉢に植えて持参するなどさりげないものでも十分なのではないでしょうか。

中元や歳暮など、季節のギフトに花を使う場合もあります。お中元は上元1月15日、下元11月15日の間をとって旧暦7月15日のことですが、本来7月初旬から15日までに済ませるのが適当で、それ以降8月8日前後の立秋までなら「暑中見舞い」、さらに遅くなった場合は「残暑見舞い」とします。ただし、関西地方など旧暦に従う場合は8月15日までとします。トロピカルムードいっぱいのアンズリウムや洋らんなど、日持ちもよいカラフルな花を花束やアレンジメントにしたり、涼感のある観葉植物などが適しているでしょう。

また、1年の締めくくりであるお歳暮は、日頃の感謝を品物に託して具体的に表現するものです。一般には12月初旬から20日くらいまでにお届けしますが、これ以降は「クリスマスギフト」、もしくは年が明けてから新年のご挨拶、寒に入ってから「寒中見舞い」とします。多いのはシクラメンやシンビジューム、ポインセチアといった年末年始のお宅を飾るにふさわしい花鉢ですが、クリスマスツリーやリースなども洒落ています。

年末にお正月の松、千両、菊などを花束にして金銀、紅白などの水引きをかけたお届けするとか、新年早々に七草の籠、縁起ものの寄せ植えを届けるとかいった方法もありますが、これはきっと毎年楽しみにしていただけるでしょう。何かと実用品が重宝とされる昨今ですが、それだからこそ自分ではなかなか購入しない物として花のギフトが魅力的なのではないでしょうか。 <濱田>

3.3 お供えの花

Q お悔やみの花をお届けする場合、どのような種類や注意がありますか。また宗教などによる違いはありますか。

A 亡くなった方への哀悼の花の形態は TPO によりさまざまです。日本と外国とでは異なりますし、日本国内でも宗教や地方によるしきたり、習慣の違いから異なってきます。

一般的なお供えの花

特にフォーマルなものではなく、亡くなった方の枕元にお供えする花として「枕花」という形態があります。小型の籠や陶器などの器に、主に白あがり（白い花のみで挿す）で構成され、亡くなられてすぐに身近な方が飾られる場合が多いため、名札、木札などは立てないのが一般的です。花材は洋らんやユリ、菊などのほか、白系の季節花になります。

また、一般の方からお供えの花として白い花を中心としたアレンジメントをお届けすることもあります。お通夜や葬儀などに、フォーマルな花籠などではなく、弔意を込めてお贈りする花です。生前、故人の好きだった花を混ぜたり、亡くなったのがお子さんの場合や、若い女性の場合などは、淡い色の花を混ぜて優しい印象のアレンジメントにしたりします。最近の住宅事情では、ご葬儀の祭壇もコンパクトになる傾向がありますので、このような小型のアレンジメントが利用される場合が多くなっています。この場合、必要であればカードや小型の名札などに贈り主の名前を添えます。

お供え花籠

正式な葬儀などに用いられる大型の花籠で、一般には白菊を使い、洋らんなどを足す場合もあります。関東地方ではその器の形から俗に菱形と呼ばれ、飾る場所によって台の高さがさまざまになります。

地方ではスタンド式のものも多く見られますが、その形態はさまざまで供物などと一緒に組み合わせる場合もあります。この花籠には、送り主の名前の名札が付けられます。

一般的な告別式では、お供えの花を出棺の時に棺に入れてお別れをします。仏様の戻った時のために、後飾りとして小型のお供えの花を用意します。

葬祭場での装花

社葬などの場合は、葬祭場など大きな会場で葬儀が行われます。この場合統一感のある会場とするために個別のお供えの花は辞退して、祭壇や会場を装飾する場合があります。この場合供花のかわりに会場内に芳名板などを設置して、弔意を寄せた方の名前を掲示します。花の装飾は地方によって異なり、関西地方では青竹を多く利用する場合があります。

また、仏式、神式によっても異なり、仏式では緑葉にしきみを使い、神式では榊を使います。会葬者も仏式ではお焼香をしますが、神式では榊の玉串奉てん、キリスト教では献花をします。

キリスト教の葬儀

キリスト教も宗派によって習慣が異なり、お供えする花も白ばかりでない場合があります。また、お供え花籠のように大きく名札をつけたりしない場合が多いものです。アメリカなどではいわゆるアレンジメント形式の花ではなく、むしろリース（花環）、クロス（十字架）、ピロー（枕）などが一般的で、花以外の供物を供える習慣はありません。

このほか、宗教、国により習慣はさまざまですので、当事者やそれぞれ教会などに問い合わせる事が必要になります。

法要・年祭

故人の冥福を祈り、その霊を慰めるために行われるのが法要や年祭です。亡くなられた時から時間が経過するにつれ、花の色彩は自由なものになる傾向があります。遺族の方をお慰めする花でもありますので、白ばかりにこだわらずに選びます。

〈濱田〉

法 要

初七日	7日目	七七忌	49日目忌明け (この日を堺にご霊前 からご仏前とする)	十七回忌	満16年目の祥月命日
二七忌	14日目	百箇日	100日目	二十三回忌	満22年目の祥月命日
三七忌	21日目			二十七回忌	満26年目の祥月命日
四七忌	28日目	一周忌	満1年目の祥月命日	三十三回忌	満32年目の祥月命日
五七忌	35日目	三回忌	満2年目の祥月命日	五十回忌	満49年目の祥月命日
		七回忌	満6年目の祥月命日		
六七忌	42日目	十三回忌	満12年目の祥月命日	百回忌	満99年目の祥月命日

3.4 新しいギフト形態，システム

Q 消費者にとって興味のある新しい花のギフトの姿には、どんなものがありますか。

A 差別化の時代といわれたここ数年，フラワーギフトも新しい販売チャネルを求め，その姿が多様化してきました。単純に奇をてらったといったアイデア倒れのものもあった中，確実に顧客の心をつかんだものもあるようです。

花の自動販売機

海外の空港などでは以前から見られた花の自動販売機は，国内では1989年頃から見られるようになりました。商品内容や価格設定，商品のメンテナンス，設置場所，ロスの発生など多くの問題点につき試行錯誤を繰り返しながら，現在も数社により都心などで設置が続けられています。一般的なフラワーショップでの販売と異なる点は，圧倒的に男性客が多いこと，そしてメリットは夜間に販売ができることで，木曜日，金曜日に売り上げが伸び，月曜日，雨天の日は売り上げが伸びないのはフラワーショップと同様ようです。

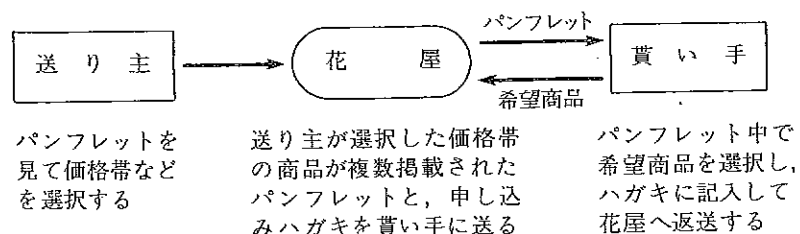
今後はパッケージの改善による花の鮮度保持の向上などが期待されています。

複合ギフト

数年前より都心の百貨店で売り場展開が見られる方式ですが，お菓子や小物，雑貨，フレグランス関係のものなどを花と組み合わせてギフトとするもので，花のみでは先方の価値観に不安がある場合，また差別化ギフトとしてすでに人気定着しています。ただし，双方の商品特性上，デリバリーが困難な場合が多く，パッケージにも工夫が必要となります。

選択メニューによるギフト

結婚式の引き出物などで，参列者は商品パンフレットと申し込みハガキのみを



選択メニューによるギフト

受けとり、後日好みのものを選択してハガキで申し込むと商品が贈られてくるシステムがありますが、これを植物で行っているケースがあります。特に植物は持ち運びが不便である、かさばるなどという商品特性があるために歓迎される傾向で、一般的なギフトのほか、賞品などにも適用されています。

半製品のギフト

フラワーデザインブームを反映したギフトシステムで、出来上がったアレンジメントを贈るのではなく、素材やレシピを贈り、製作は受け手側に楽しみながらしてもらうといったもので、JFTD（社団法人 日本生花通信配達協会：Japan Florist's Telegraph Delivery Association）でも母の日ギフトなどに導入しています。配送途中で壊れやすいドライフラワーのトピアリーなどの製作キット、花と押し花用具のセットなどこのバリエーションはさまざまに考えられるでしょう。

また、家庭で学べるフラワーアレンジメントをうたい文句に、練習素材などを供給する通信教育システムもあります。

花のケータリング

いわゆる生け込みといった形態ですが、パーティ会場や展示会など、その場のイメージに合わせた花を出張して供給するもので、最近流行のガーデンウェディングなどにぴったりのサービスとなっています。開店祝いの花なども、こんなギフトなら場所に対して大きすぎたり、小さすぎたりといったケースがなくなるでしょう。

このほか、鮮度保持を目的とした包装材の開発はめざましく、顧客到着時の花のコンディションは飛躍的に改善されていますが、一方では配送事情によるトラブルも多く、特に母の日など1日にギフトが集約される場合は困難な場合もあります。これは「母の日ウィーク」と考えを転換する啓蒙をするなどし、改善が図られています。従来見られたラッピングブームは以前より沈静化の方向にあり、オーバーデコラティブではない効果的なギフトラッピングの素材、および方法が模索されています。

〈濱田〉

3.5 家庭で楽しむ——切り花



切り花を家庭生活に取り入れるきっかけになるような事はありませんか。



普段花を飾る習慣がない家でも、お正月は松、千両といった縁起ものの花を玄関などに飾る光景が多く見受けられますが、このように年中行事と花を結び付け、四季折々の生きたインテリアとして花を考えてみてはどうでしょう。

〈お正月〉

古くからの常緑樹信仰（変わらぬ命を持つ）から松が欠かせません。最近では減っていますが、神木化した姿として門松はお馴染みでしょう。このほか、縁起の良いものとして竹、梅、難を転ずる南天、千両、万両、万年青（おもと）などが加わりますが、これにこだわらず、例えば洋らんを一輪和食器などにあしらっても十分かと思えます。

〈春の七草（1月7日）〉

せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろの7種。竹籠植えのものが市販されます。

〈節分（立春の前日）〉

鬼が尖ったものを嫌うため、「鬼の目つき」の別名もあるモクセイ科の柊（ひいらぎ）がモチーフです。

〈桃の節句（3月3日）〉

〈イースター（4月上旬頃）〉

キリストの復活を祝う日で、色付けしたイースターエッグ、豊かな生命力の象徴であるウサギとともに、ユリの花がシンボルとされます。

〈サクラソウの日（4月19日）〉

英国の首相であったベンジャミン・ディズレーリの亡くなった日で、ヴィクトリア女王がサクラソウの花輪を捧げたことに起源します。

〈サンジョルディ（4月22日）〉

スペイン・カタルーニャ地方の習慣で、男性は愛する人に赤いバラを贈り、女性は知性のシンボルとして愛する男性に本を贈る日です。

<スズランデー (5月1日)>

フランスではこの日に花屋や街頭の売り子（野原でスズランを摘んできた子供達）からスズランを買い求め、知人や友人、家族で贈り合う習慣があるのだそうです。

<母の日 (5月の第二日曜)>

1914年に制定。フィラデルフィアの一少女が亡き母に捧げたカーネーションがモチーフ。お母さんの好きな花を飾る日にしてもよいのでは。

<こどもの日 (5月5日)>

端午（たんご）の節句。菖蒲（しょうぶ）の節句。菖蒲湯に入ると1年中病気をしないという言い伝えがあります。

<父の日 (6月第三日曜日)>

1910年に制定。ワシントンのドット夫人が、母亡き後子供を育て上げた父を称えたのが始まり。バラがモチーフといわれます。

<七夕 (7月7日)>

<重陽 (9月9日)>

陽の数9がふたつ重なる菊の節句。

<月見 (9月15日頃)>

秋の七草は、萩（はぎ）、葛（くず）、撫子（なでしこ）、女郎花（おみなえし）、藤袴（ふじばかま）、ききょう、すすき

<ハロウィーン (10月31日)>

11月1日万聖節のイブで、死者の祭り。霊を追い払うために火を焚く。お化けカボチャをくりぬいたジャック・オー・ランタンはお馴染み。

<クリスマス (12月25日)>

常緑樹信仰に基づき針葉樹のモミ、柊を中心にクリスマスカラーである赤、白、モスグリーンを中心とした植物を飾ります。クリスマスリース、ドアスプレイ（ドア飾り）、センターピース（テーブル飾り）、ポインセチアの鉢など植物を暮らしに取り入れやすい日でもあります。

以上のような暦を参考に、その季節らしい植物をほんの一輪、ほんの一枝でもディスプレイしてみる、もしくは、四季を通じて食卓に一輪の花を欠かさない、などといったことをきっかけにしてみてもいいでしょうか。 <濱田>

3.6 家庭で楽しむ——鉢植え



長く楽しめる鉢植えはなかなか魅力的ですが、どんな楽しみ方が考えられるでしょう。



室内で楽しむ

鉢植えを室内の飾りに使う事を最初に行ったのは、17世紀、二人のイギリス人園芸家が熱帯果樹と花を持ち帰り、自宅の温室で育てた事が始まりといわれます。

現在では鉢植えはよく玄関に置かれています。玄関ホールは、ヨーロッパなどの古い格式ばった大邸宅にあったホールやロビーといった部分の名残りでその家の顔ですが、植物にとってはどのような場所でしょう。たいてい防犯上の理由から、総ガラス張りなどは考えられず、採光が十分でない場合が多いのが特徴です。また土間はタイル、石材などの材料が使われる場合が多いため冷え込みます。そこで、植物は耐陰性、耐寒性が要求されます。また玄関では靴やコートの着脱、立礼、座礼、通過など人の動きがあるので、その妨げになるような体積的に大きな鉢植えは不向きです。ベンジャミナ、サンスベリア、スパティフィラム、ユッカ、シェフレラなどの観葉植物、和風建築の場合はカンノンチク、シュロチクなどもよいでしょう。

階段は通路ですので何より人の動線の確保が優先されます。立体的に植物を飾れる空間として魅力がありますが、安全性の重視が第一で、「建築基準法」で定められた幅75cm以上、蹴上げ最大23cm、踏み面最小15cmの数字をクリアしつつ、かつ余分に鉢植えを置けるスペースの残る階段は少ないのではないのでしょうか。それでも踊り場のコーナーにスリムな観葉植物を置いたり、手すりにつる性植物を絡めたりすることはできます。

リビングルームは家族のだんらんの中心となる場所ですから住宅条件の良い場所が割り当てられることが多く、植物にとっても生育しやすい環境となっているものです。南向きの場合も多く採光は十分で、人がいる時間が長い分温度管理なども適切です。反面、冷暖房の入切によって起こる温度差、乾燥といった弊害も見逃せません。温度差を小さくおさえ、加湿器の設置、葉水の習慣などを心掛けながら、植物にとっても快適環境であるように留意をします。

ダイニングキッチンには機能性が重視されることが多く、小さな鉢植えなどをうまく生かしたいところです。食空間ですから清潔感を重視してハイδροカルチャーなども適しているでしょう。また、窓辺を利用したハーブガーデン、野菜などの水栽培を行うキッチンファーム的な試みは、育てて観賞して食べることもできる三通りの楽しみ方ができるでしょう。

バスルームは一見温度も高く、湿度も十分に得ることができそうな場所ですからグリーンには好適環境と思いがちですが、実際には温度差が激しく、湿度もその気密性を考えれば過湿状態で、植物の設置は難しい場合が多いものです。浴室内を積極的な強制換気ができるようにすれば可能な場合もあります。

屋外で楽しむ

ベランダなどの場合、部屋からの眺めと同時に、外観からの建物全体の美しさも要求されます。あらかじめ建物の構造を調べ、防水加工がしてあれば土を入れた植栽ができますが、手軽なのはプランター、鉢植えを使って飾る方法で、日当たりが良く、陽射しが強すぎる場合など、乾燥に強い多肉植物や、サボテン、キリンソウ、ベンケイソウなどを置くと管理も楽でしょう。観葉植物も、1年中室内に置くのではなく、活力を取り戻すためにベランダに置いてみましょう。ポトス、カラジューム、ゴムノキ、タマシダ、タニワタリ、クロトン、ベゴニア、ベンジャミン、コーヒーノキ、シェフレラ、ガジュマル、アイビーなどはベランダ向きです。手すりに鉢をつるすときは風にとばされないように注意をします。また日当たりの良いベランダは乾燥しやすいスペースですので、毎日の水やりは欠かせませんが、その際、防水加工のしていないベランダでは漏水に注意が必要です。テラスにはアクセサリーとしてのガーデンファニチャーの設置をはじめ、パーゴラの設置も効果的です。建物と調和し、耐久性のある素材を選択し、植物はフジ、ツタ、ヘチマ、バラ、キウイフルーツなどが適するでしょう。

このほか、サンルーム、玄関アプローチ、中庭、ルーフガーデンなどで鉢植えを楽しむことが可能です。 <濱田>

3.7 パーティーなど会場を飾る

Q 大きな宴会場や結婚式の披露宴など、大量の花を一度に使用することがあるとありますが、どのように装飾されるのでしょうか。

A 個々にアレンジメントや花束を作るのとは異なり、広域な会場をトータルに花で装飾する場合があります。

ブライダルの花

人生の中の最大のセレモニーとしての結婚式は、最近より一層デコラティブなものになる傾向があります。それに伴い、花の装飾もたいへん華やかに、立派なものとなってきました。教会（チャペル）での結婚式の場合、宗派などにより違いはありますが、祭壇、バージンロード両側の各座席側面などが花で飾られ、花嫁はブーケを持ち、花婿はブートニアを胸につけます。これはかつて男性が花束を女性に贈って求婚し、その承諾のしるしとしてその中の一輪を女性が男性のボタンホールに挿した事の名残りといわれます。このほか結婚指輪を乗せるリングクッションに花を飾る場合もあります。

披露パーティーでは、まず新郎新婦の着席するブライダルテーブル（メインテーブル）、ウェディングケーキが置かれるケーキテーブル、新郎新婦が共に点灯するキャンドルが置かれるメモリアルキャンドルテーブル（スタンド式の場合もあります）、来客用のテーブル（主にその中央部）に花が飾られます。これらはすべてトータルプランで構成され、主要な花材などはそれぞれテーブルに共通して使用される場合が多いものです。従来は白色が中心でしたが、最近はテーブルのクロスなどがカラフルになったのに伴い、華やかな花色で構成される場合もあります。このほか、食事のスタイルや会場の性質などにより、控え室など予備の部屋のテーブル上、照明器具、壁面、柱、ステージなど各所に花の装飾がなされる場合があります。メディアによる情報から一般の人が芸能人、文化人などの披露パーティーの様子を知り、それと似た装飾が人気を呼んだり、流行したりすることがあります。

このほかブライダル関係では、新郎新婦の両親への花束の贈呈、参列者への花のお土産などの要素があります。

パーティーなどの花

まず一般的に見られるのが食卓の花でしょう。

洋食で着席スタイルの場合、テーブルの上で花の占める適正面積は、そのテーブルの幅を三等分した中央の部分程度といわれます。これは丸テーブルでも同様で、テーブル直径を三等分した場合の中央の部分を直径とした円形内に花のスペースをおさめます。着席した時に向かい側に座る人の顔が隠れてしまうことのないよう、比較的フラットに構成するのが特徴で、あわせて料理との関係を考え、香りが非常に強い花や、花粉、花弁、葉などが散りやすい花も避け、色彩などが料理を引き立てて食欲をそそるものであることが大切です。また、食事中に水おちしたりする事のないよう、メンテナンスにも留意が必要です。

大型のパーティーに多いbuffet式の場合は、主に料理のテーブルを中心に会場を統一感ある状態に構成します。フルーツや氷の彫刻などが花とともにディスプレイされる場合も多く、会場の雰囲気やパーティーの主旨に合ったプランを立てる必要があります。大規模な会場の場合は、照明効果なども考える必要があるでしょう。

また、非常に大がかりな装飾の場合、室内庭園などが作庭されることがあります。これは、一般の庭園と同様に、和風のものや洋風のものに分けられますが、植物のみならず石やエクステリアなどの点景物、水などの要素が組み込まれる場合もあります。多くの場合、樹木の鉢植えはリース（貸し植え木）のシステムによって供給され、会場の絨毯などの上にビニールシートを敷いた上に設置をして行きます。当然の事ながらパーティー開催中に景観がそこなわれることのないよう、素材やプランの検討が必要になります。

このほか、そのパーティーの内容により、より来賓にアピールしたいモチーフを花で製作する場合があります。会社名やマーク、主要商品などがそれにあたり、TPOに従ってフレッシュフラワーのほか、さまざまな装飾材料、資材を用いて構成されます。

一般に、ブライダルの花もパーティー関係の花も、その開催時間までの順調なセッティングと、終了後の撤去といったプロセスも重要な要素となります。

〈濱田〉

3.8 公共の空間を飾る



商業施設など、公共の空間を植物で飾るときは何に気をつけ
ればよいでしょう。



商業空間

商業空間といっても業態・業種によって空間の在り方は千差万別になり、その中で植物の位置付けもさまざまです。花の場合では和食店が密接な関係を持つことがあり、これは、日本料理が料理とともに、日本の四季の移ろいを愛でることに重きを置くものであることに由来すると思われ、少しの空間を利用して坪庭をしつらえたり、違い棚に一輪挿しを置いたりといったことに表れます。また、衛生面の尊重から近年は人工樹木を利用した装飾なども多く見られます。また、ショーウィンドーや、ディスプレイといったスペースに花を用いる場合も多く、顧客にとって興味をかき立て、魅力あるものにする必要があります。この場合、季節感や話題性を取り入れることが大切で、新年（松竹梅などをあしらった和風のもの）、春（花畑、桜）、夏（トロピカル、エスニック調、マリン）、秋（収穫、落葉）、冬（雪景色、クリスマス）など四季折々をイメージさせるシーンを作ったり、行事、ニュース、ブームに従ったプランを立てていきます。普段から「季節」「行事」「植物」ごとに関連する素材や色、モチーフなどを次々と連想させるイメージトレーニングといった事をしていくと有効です。

複合施設

ホテル、地下街、ショッピングセンターなどの複合施設では、パブリックスペースを快適環境とする事により、顧客サービスと、商業空間のグレードアップを図る傾向があります。また、そのような場所を提供することは、企業が果たすべき社会的役割であるといった見方も強く、この傾向はより強まると思われます。最近非常に多く見られるのがアトリウム（Atrium：吹き抜け）構造で、リゾートホテルをはじめとして、あちこちで見受けられます。容器としての無機的なアトリウム空間に緑を取り入れることにより、集う人に安らぎと憩いの場を提供し、同時に空間に統一感を持たせるといった機能を持たせています。実際には光条件など、植物にとって過酷な生育条件の場合が多いため、昨今は人工樹木とフレッシュの併用型も多く、そのことによりデザイン的な冒険が可能になっています。

オフィス

労働効率の向上を目的としてオフィスにグリーンなどが積極的に導入されています。最近はこの他にアロマセラピー（芳香療法）といった「香り」のもたらすストレス解消等の効果をプラスし、緑と香りのプランニングが行われています。一般的には、ビルのエントランスやホールへの大規模なグリーンの設置のほか、主にグリーンリースを利用したオフィス内への鉢のレイアウトがなされます。この場合、オフィスの機能を損ねることなく、さらにメンテナンスが簡単であることなどが条件となり、過剰なレイアウトはともすると環境を雑多なものにしてしまう場合もあることに注意をします。

その他の要素

室内に植物の空間を設置する場合、欠かせないのが照明です。植物専用ランプは植物の生長に必要な光エネルギーを効率よく発生するように設計されたもので、蛍光灯と白熱灯があります。太陽光が直接入らない所での植物の育成、発芽の促進、日照の補足に効果的です。青と赤（深い赤色）の波長を豊富に発生するため、グリーンや熱帯魚（流行のアクアリウムなど）などの観賞照明にも使用され、赤い花色を強調する場合などにも使用されますが、演色性に劣りますので重点照明用としてのみ使用します。また、アトリウム内に設置された植物への補光装置としては、高いワットのナロー配光スポットやHIDランプが使用されます。アトリウム先進国であるアメリカでは、赤色系を多く含む高圧ナトリウムランプ灯と青色系を多く含むメタルハライドランプ（HQI）を併用するケースが多く見られますが、これは植物にとって最も必要とされるのは450nmの青紫色（葉を厚くし、樹形を作る）と、650nmの赤色（発芽や葉の展開、花芽の形成に効果的、光合成作用が最大になる）を中心としたスペクトルであることに由来します。

このほか、イルミネーションやスポットライトが公共空間の植物をより引き立てるために多用されます。スポットライトでは、コンパクトサイズで明るく白い光を出し、色・ツヤ・輝き・立体感を強調しながらまぶしさの少ないハロゲン電球は利用しやすく、照明用の器具も豊富です。ダイクロイックミラー（熱線吸収ガラス）付きの器具や、前面レンズの内側に赤外線反射膜を蒸着したハイビームクール球などを使用することにより輻射熱による植物の損傷を防止したり、昼夜照明を避けるなど「植物」という素材を尊重した計画をたてるようにします。

〈濱田〉

毎日の誕生花と花言葉

	7月	8月	9月
日	[7月の花]ユリ, トルコキキョウ	[8月の花]アンスリウム, ヒマワリ	[9月の花]リンドウ, クジャクソウ
1	クレマチス(テッセン)●高潔	オシロイバナ●臆病	キキョウ●変わらぬ愛
2	フロックス●同意	ハマユウ●汚れのない	マリーゴールド(黄)●健康
3	マツバギク●怠惰	ヒナゲシ●慰め	カラジューム●喜び
4	カノコユリ●莊嚴	オイランソウ●あなたに同意	ナデシコ●貞節
5	ハマナス●見映えの良さ	サルスベリ●雄弁	ケイトウ●色褪せる恋
6	ツユクサ●尊敬	アサガオ●愛着	クルマユリ●純潔
7	クチナシ●清浄	アンスリウム(赤)●情熱	ヘリアンサス●崇拜
8	フウリンソウ●感謝	コウホネ●崇高	ホウセンカ●私に触れないで下さい
9	ボダイジュ●結婚	パンパスグラス●光輝	オミナエシ●親切
10	トルコキキョウ(ピンク)●優美	ルコウソウ●多忙	ダリア(赤)●栄華
11	カノコソウ●親切	ゼラニウム(ピンク)●決心	ブドウ●陶醉
12	ノコギリソウ●戦い	キバナコスモス●野生美	フトイ●肥大
13	ホテイアオイ●恋の悲しみ	ペロニカ●忠実	クズ●恋のためいき
14	ユリ(白)●純潔	センニチコウ●不朽	アザミ●触れないで
15	カワラナデシコ●貞節	チョウジ●威厳	サネカズラ●再会
16	ジンジャー●信頼	トリトマ●胸のいたみ	ハゲイトウ●不老不死
17	ヒルガオ●絆	オオケタデ●雄弁	シュウカイドウ●片思い
18	バーベナ●柔和	クコ●お互いに忘れましょう	リンドウ(白)●的確
19	ユリ(黄)●飾らぬ美	ノウゼンカズラ●光栄	サルビア●燃ゆる思い
20	フィソステギア●達成	キョウチクトウ●患まれた人	リンドウ(紫)●正義
21	ネムノキ●歡喜	サボテン●内気な乙女	カンナ●情熱
22	ジャノメギク●切なる喜び	ヒマワリ●あなたはすばらしい	アカネ●媚び
23	ブーゲンビリア(ピンク)●情熱	ワレモコウ●変化	マンジュシャゲ●悲しき思い出
24	オオマツヨイグサ●ほのかな恋	トロロアオイ●知られぬ恋	ダリア(黄)●優美
25	トリカブト●人ぎらい	ハイビスカス(赤)●新しい恋	クジャクソウ●可憐
26	ハルシャギク●常に快活	アンスリウム(白)●熱心	ベンケイソウ●静穏
27	マツバボタン●かわいさ	ザクロ●優美	トレニア●温和
28	サラサドウダン●明るい未来	ゼラニウム(ピンク)●堅実	フジバカマ●あの日を思い出す
29	ブーゲンビリア(白)●熱心	クローバー●約束	ススキ●隠退
30	トルコキキョウ(白)●希望	ツキミソウ●うつろな愛	シュウメイギク●薄れゆく愛
31	ルドベキア●正義	ハイビスカス(白)●艶美	

資料：(社) JFTD